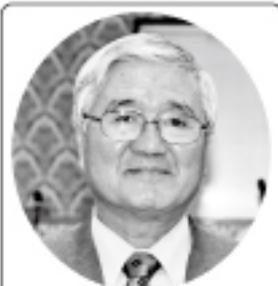


障がい者入所の施設誘致を広く呼びかけ

町長：障がい者の入所施設は必要だが。



西田治利 議員

質問 障がい者が環境の整った支援を受けられる施設の誘致を積極的に図るべきではないか。

答弁 町長は島内には障がい者の入所施設がなく、現在二十四名の方が親元を離れ島外への入所を余儀なくされている。障がい者自立支援法に基づく障がい者支援施設の整備及び運営の基準が、医師一名(兼職可)、看護職員、生活支援員、サービス管理責任者等の職員を人数に応じた配置しなければならぬなど、人員の確保が難しく設置は困難な状況にある。

質問 町内全域にウォーキングを通しての健康づくりを広く推進してはどうか。

答弁 町長は健康づくりの推進については、自助・共助・公助のうち、自分たちで出来ることは自分たちでやる「自助」と地域コミュニティで支えあつて解決しよう「共助」の部分を生かしてもらいたい。

質問 フローラルパークのグラウンドゴルフ場を公式会場に改修できないか。

答弁 町長はフローラルパークの敷地内のスペースにも限りがあり整備は難しい状況にある。現在は八ホールの二コースが取れており公認コースに近い状態では整備されており、不便ではないと思つてゐる。



フローラルパークのグラウンドゴルフ場

NPO法人組織の活動について

町長：信頼と自立によって対等なパートナーシップを構築。



山崎賢治 議員

質問 第三住吉地区基盤整備事業計画について。

答弁 町長は板岩、吉泊、宇和美崎地域は、全体の畑地面積が19・3ヘクタールあり、10ヘクタール以上の受益者同意の確保が見込めれば県管畑総事業での区画整理の施工が可能。

質問 屋古江地区には町道が通っているが道路状況が悪い。舗装の計画は無いのか。

答弁 町長は平成三十一年度までの整備対象路線としては計画されていないのでその後の整備となる。

質問 第二住吉地区の畑かん事業について。

答弁 町長は区画整理が完了し、その後、受益者から早急な畑地かんがい整備要望が出され、正名地区と同様に同意徴集を行ったところ、10名余りの受益者から同意が得られた。現在、関係機関と協議、調整を行っている。

質問 住吉のコイン式給水装置の不具合で苦情が多いが対応策について。

答弁 町長は第二住吉地区の畑地かんがい整備時に水源切り替えを行うなどして安定的な給水装置となるよう関係機関と協議、調整を進めていく。

質問 NPO法人組織の活動について。

答弁 町長は本町のNPO法人は「イータバ」と「あくヘルシー」の2団体があり、地域活動支援セ

ンター事業の委託やマリナーパーク清掃作業の委託活動や食育に対する普及、啓発事業生活習慣病等の予防と改善策の教室事業、食の文化祭などの事業を展開している。



第4回 食の文化祭へ参加

質問 行政との協働については何のように考えているのか。

答弁 町長は行政の更なる努力はもちろんだが、町民の英知を結集し、共に力を合わせていくことが必要だと思つて、信頼と自立によって対等なパートナーシップを構築することが重要と考えている。将来的な取り組みについては、法人数が増えることが必要だと思つてゐる。